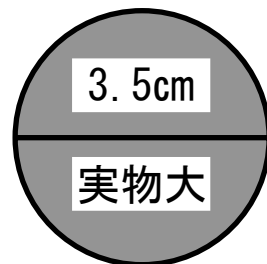


異物誤飲にご注意！

保護者の責任です。

誤飲事故は、乳幼児期に多発し、飲み込んだ異物を放っておくと時に思わぬ合併症を招くことがあります注意が必要です。

★3才未満では直径3.5 cm大きさのものは口にいらると言われているため、これより小さい物は手の届くところに置かないのが最大の予防です。



★誤飲される異物で多いものは、タバコ、くすり、化粧品、洗剤や漂白剤、乾燥剤、殺虫剤、コイン、ボタン電池などです。

①タバコが誤飲事故では最も多く、ニコチンの乳児致死量は紙巻きタバコの3分の1です。（タバコケース記載のニコチン量は、タバコに火をつけてフィルターを通して吸い込まれる量なのでニコチン含有量とタバコの銘柄にはあまり関係ありません。）

②強酸、強アルカリ液（漂白剤）、灯油は、危険なので、絶対に自宅で吐かさないうで下さい。

③防虫剤や石油製品などの誤飲では、牛乳は吸収を促進するので飲ませないで下さい。

④ボタン電池は、消化管穿孔を起こす恐れがあるので、早く処置する必要があります。

⑤固形異物が鼻、のど、食道にある場合は、速やかに摘出する必要があります。

★異物誤飲した時は、**正確な商品名とその量、時間は重要な情報**です。受診時には誤飲した物と同じ物や説明書、外箱などを持参して下さい。

異物誤飲ではかかりつけの病院に相談し、その指示に従って下さい。

★中毒110番 →

①タバコ専用応答電話→06-6875-5199（大阪）

②ダイヤルQ2（24時間対応）→0990-50-2499（大阪）

